

# SQUARE PARASHADE

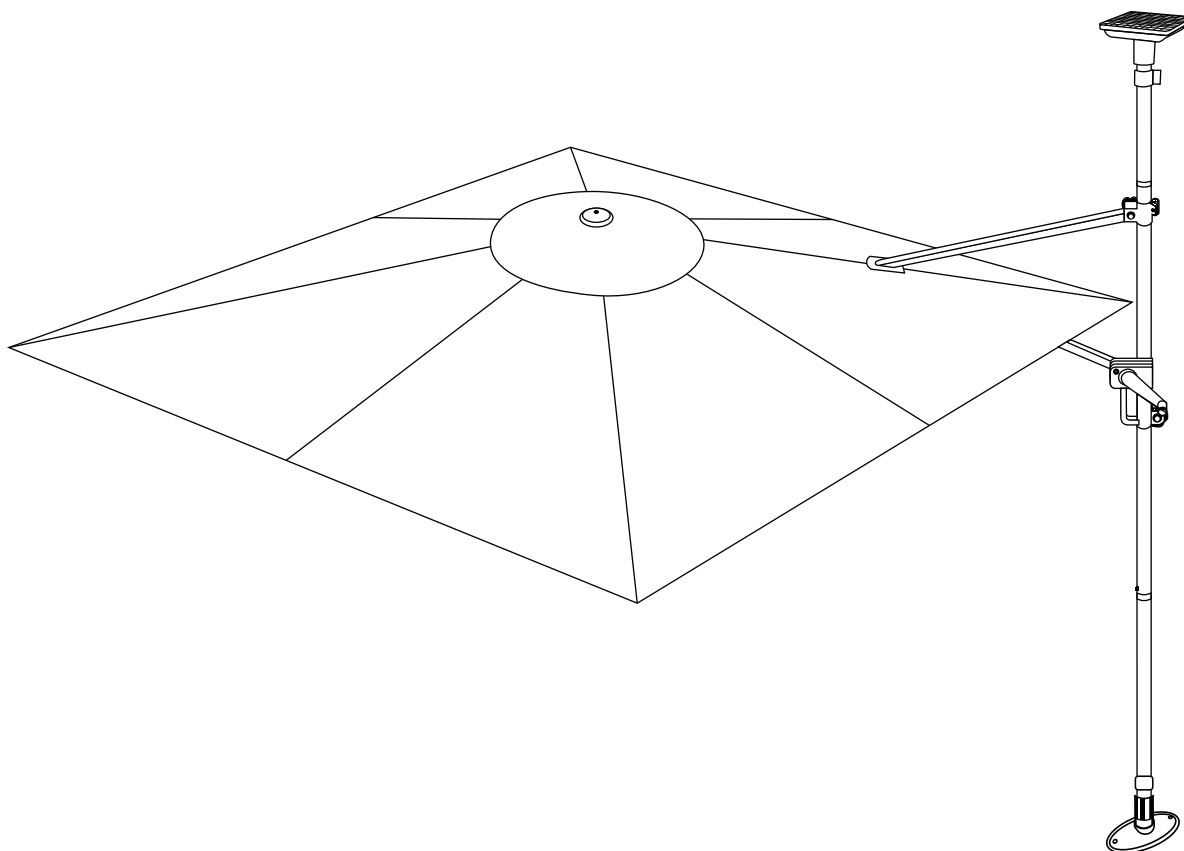
## パラシェードスクエア

突っ張り棒1本で設置できる、日かげスペース広々の正方形型パラソルです。

### 設置・取扱説明書

パラシェードスクエア(正方形型)

- (約)200cm×200cm アイボリー色 PDSQ1-IV
- (約)200cm×200cm グレー色 PDSQ1-GY



特許取得済(第6861354号)

PATENT PENDING

MADE IN CHINA

# 必ずお読みください。

## 「設置・取扱説明書」





このたびはパラシェード スクエアをお買い求め頂き、誠に有難うございます。


パラシェード スクエアは、突っ張り棒を利用して設置する正方形型パラソルです。

設置・お取扱いの際には必ずこの『設置・取扱説明書』をよくお読みになって正しくお使いください。


またお読みになった後は大切に保管してください。

本書では、製品を安全にご利用頂くために次の絵表示を使用して、お守り頂く事項の内容を区分しております。


-  **警告** この絵表示がある項目は、取扱いを誤ると人体に重傷を負う可能性や、死亡につながる可能性があります。
-  **強制** この絵表示がある項目は、危険や損傷を回避する為に、特定の行為を指示する『強制』行為を示しております。
-  **禁止** この絵表示がある項目は、危険や損傷を回避する為に、特定の行為をしてはいけないという『禁止』行為を示しております。
-  **注意** この絵表示がある項目は、取扱いを誤ると人体に怪我を及ぼしたり本製品を破損したりする可能性があります。

 **警告** 本製品を次のような場所には設置できません。

高層階のベランダなど、強風や地震等による転倒・落下が想定される場所。避難口や避難はしご等の使用を妨げる場所。その他使用時に於いて、安全性に欠けると思われる場所。

 **強制** 設置前に必ずご確認ください。


突っ張り棒の受け面(床及び天井)が十分に硬くて丈夫なこと。また長期間、強い圧力や強い振動があっても変形しない面であること。(目安は金づちで叩いても変形・破損しない面であること) 突っ張り棒の受け面が水平面に対してプラスマイナス2度以内であること。

 **強制** ご利用中に必ず実施してください。

パラソルを開く時は回転ハンドルをゆっくりと回し、パラソルの骨組が正しい方向に可動していることや、骨組が窓や壁にぶつかっていないことをご確認ください。

1週間に1度以上の頻度で本体を軽く揺さぶり、突っ張り具合に緩みが無いことをご確認ください。風がある際にはパラソルを畳み、ご使用にならないでください。

強風の際には本体を設置場所から取り外し、屋内に保管してください。

 **禁止** 転倒や破損の原因になります。

設置後、本体を左右方向に回転させないでください。

 **注意**

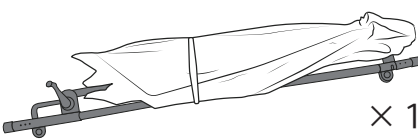
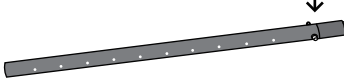
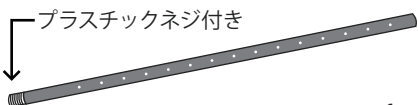
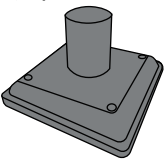
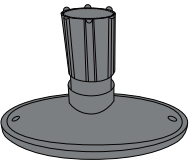
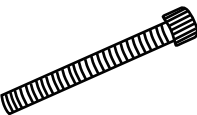



本製品のパラソル生地には撥水加工を施してありますが、非ビニール素材である為多少の水を通します。

本製品のパラソル生地は紫外線抑止加工を施してありますが、経年劣化により色が少しずつ変化していきます。

## 部品表

本製品を開封したら、最初に下表の部品及び数量を確認してください。

また⑥と⑧を締めるのに、スパナ(10mm)と六角レンチ(5mm)をご用意ください。

① 本体(ボルト、ワッシャー、袋ナット付)  × 1	② 上部ポール プラスチックキャップ・ボルト付き  × 1 (穴10段=20個)	③ 下部ポール プラスチックネジ付き  × 1 (穴15段=30個)
④ 上部パッド  × 1	⑤ 下部ダイヤルパッド  × 1	⑥ ボルト  × 2
⑦ ワッシャー  × 2	⑧ 袋ナット  × 2	⑨ ホールキャップ  × 46

# それでは実際に作業を開始しましょう。

以下の手順に従って、安全に作業を開始してください。

## 1. 設置環境の確認

下記事項を確認し、取付け場所として適しているか否かを確認してください。

a. 突っ張り棒の受け面が十分に硬くて丈夫な面であること。

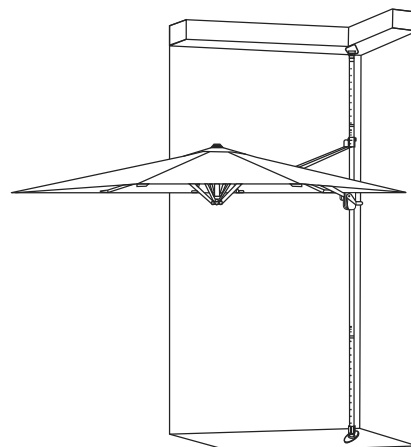
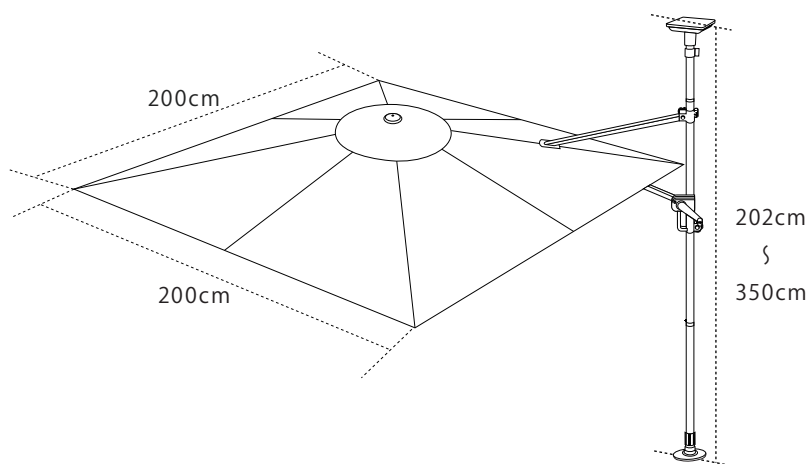
また長期的に強い圧力が掛かったり、強い振動を与えたりしても変形しない面であること。

(500kg以上の押さえ圧に耐えられる面。目安は金づちで叩いても変形・破損しない面)

＝突っ張り棒の受け面が十分に硬くて丈夫な面でない、本製品は設置できません。

b. 突っ張り棒の受け面(天井・床)が水平面から見てプラスマイナス2度以内であること。

c. 取付け場所の寸法が、本製品の規定範囲内であること。



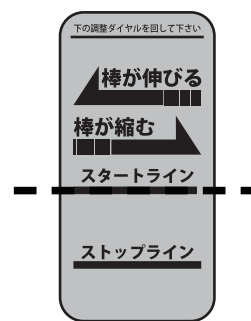
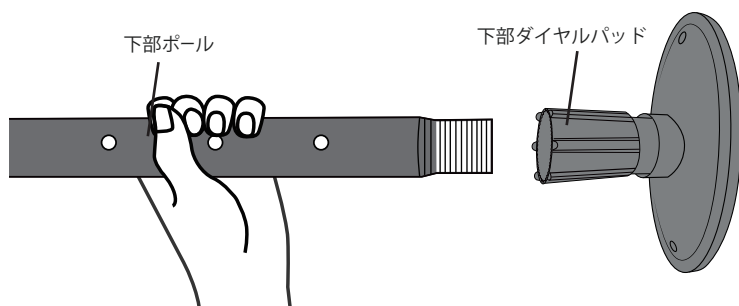
※建物の入隅(90度の角)に突っ張り棒を設置してください。

## 2. 設置

以下の手順に従って設置してください。

### A. 下部ダイヤルパッドの接続

③下部ポールに⑤下部ダイヤルパッドを回しながら接続し、⑤の上端がシールの"スタートライン"に重なる位置に合わせてください。



### B. 設置場所の測定

1. 設置する場所の床から天井までの高さを測定し、次ページ表1にて下部ポール及び上部ポールの本体との接続位置を確認してください。

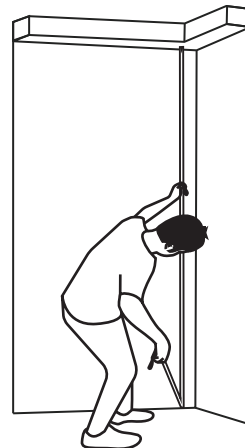
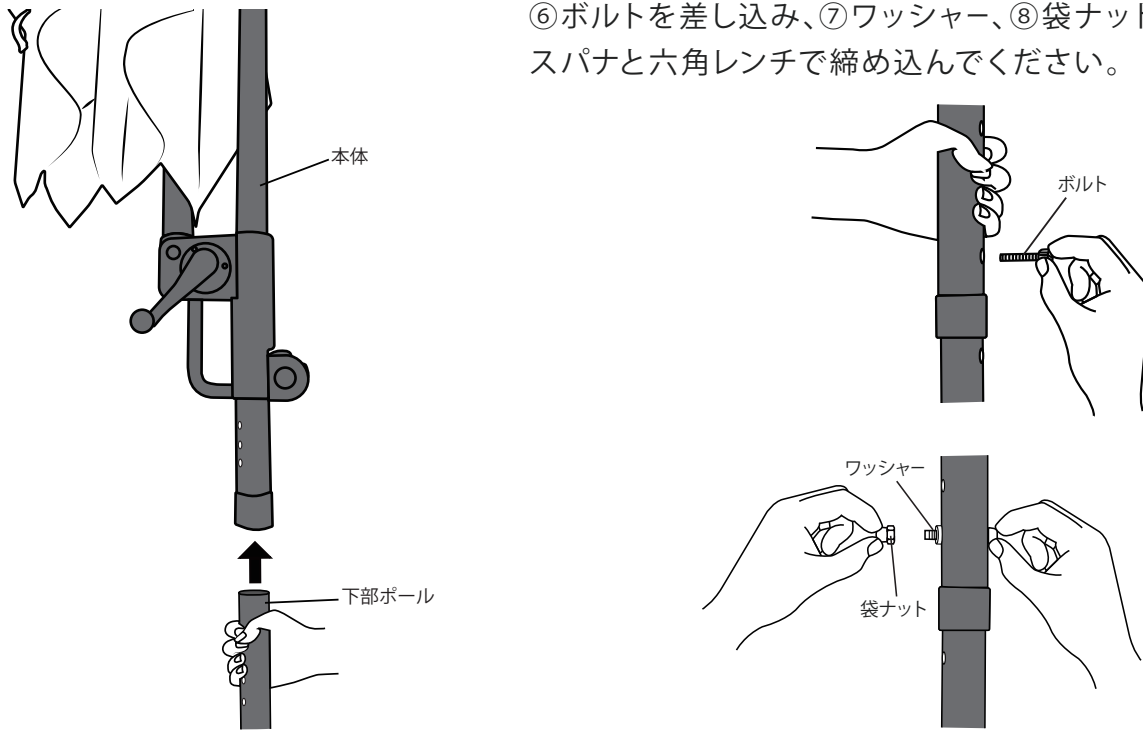


表 1

設置場所の床から天井までの高さ(cm)		下部ボールと本体下端の、ボルトを差込む穴の組合せ		上部ボールと本体上端の、ボルトを差込む穴の組合せ	
		下部ボールの穴	本体下端の穴	上部ボールの穴	本体上端の穴
202 以上	204 未満	下から1 個目	下から3 個目	上から1 個目	上から3 個目
204 以上	206 未満		下から2 個目		
206 以上	208 未満		下から1 個目		
208 以上	210 未満	下から2 個目	下から3 個目		
210 以上	212 未満		下から2 個目		
212 以上	214 未満		下から1 個目		
214 以上	216 未満	下から3 個目	下から3 個目		
216 以上	218 未満		下から2 個目		
218 以上	220 未満		下から1 個目		
220 以上	222 未満	下から4 個目	下から3 個目		
222 以上	224 未満		下から2 個目		
224 以上	226 未満		下から1 個目		
226 以上	228 未満	下から5 個目	下から3 個目		
228 以上	230 未満		下から2 個目		
230 以上	232 未満		下から1 個目		
232 以上	234 未満	下から6 個目	下から3 個目		
234 以上	236 未満		下から2 個目		
236 以上	238 未満		下から1 個目		
238 以上	240 未満	下から7 個目	下から3 個目		
240 以上	242 未満		下から2 個目		
242 以上	244 未満		下から1 個目		
244 以上	246 未満	下から8 個目	下から3 個目		
246 以上	248 未満		下から2 個目		
248 以上	250 未満		下から1 個目		
250 以上	252 未満	下から9 個目	下から3 個目		
252 以上	254 未満		下から2 個目		
254 以上	256 未満		下から1 個目		
256 以上	258 未満	下から10 個目	下から3 個目		
258 以上	260 未満		下から2 個目		
260 以上	262 未満		下から1 個目		
262 以上	264 未満	下から11 個目	下から3 個目		
264 以上	266 未満		下から2 個目		
266 以上	268 未満		下から1 個目		
268 以上	270 未満	下から12 個目	下から3 個目		
270 以上	272 未満		下から2 個目		
272 以上	274 未満		下から1 個目		
274 以上	276 未満	下から13 個目	下から3 個目		
276 以上	278 未満		下から2 個目		
278 以上	280 未満		下から1 個目		
280 以上	282 未満	下から14 個目	下から3 個目		
282 以上	284 未満		下から2 個目		
284 以上	286 未満		下から1 個目		
286 以上	288 未満	下から15 個目	下から3 個目		
288 以上	290 未満		下から2 個目		
290 以上	292 未満		上から2 個目	上から2 個目	
292 以上	294 未満			上から1 個目	
294 以上	296 未満			上から3 個目	
296 以上	298 未満			上から2 個目	
298 以上	300 未満			上から1 個目	
300 以上	302 未満			上から3 個目	上から3 個目
302 以上	304 未満				上から2 個目
304 以上	306 未満				上から1 個目
306 以上	308 未満			上から4 個目	上から3 個目
308 以上	310 未満				上から2 個目
310 以上	312 未満		上から1 個目		
312 以上	314 未満		上から5 個目	上から3 個目	
314 以上	316 未満			上から2 個目	
316 以上	318 未満			上から1 個目	
318 以上	320 未満		上から6 個目	上から3 個目	
320 以上	322 未満			上から2 個目	
322 以上	324 未満			上から1 個目	
324 以上	326 未満		上から7 個目	上から3 個目	
326 以上	328 未満			上から2 個目	
328 以上	330 未満			上から1 個目	
330 以上	332 未満		上から8 個目	上から3 個目	
332 以上	334 未満			上から2 個目	
334 以上	336 未満			上から1 個目	
336 以上	338 未満		上から9 個目	上から3 個目	
338 以上	340 未満			上から2 個目	
340 以上	342 未満			上から1 個目	
342 以上	344 未満		上から10 個目	上から3 個目	
344 以上	346 未満			上から2 個目	
346 以上	348 未満	上から1 個目			
348 以上	350 未満				

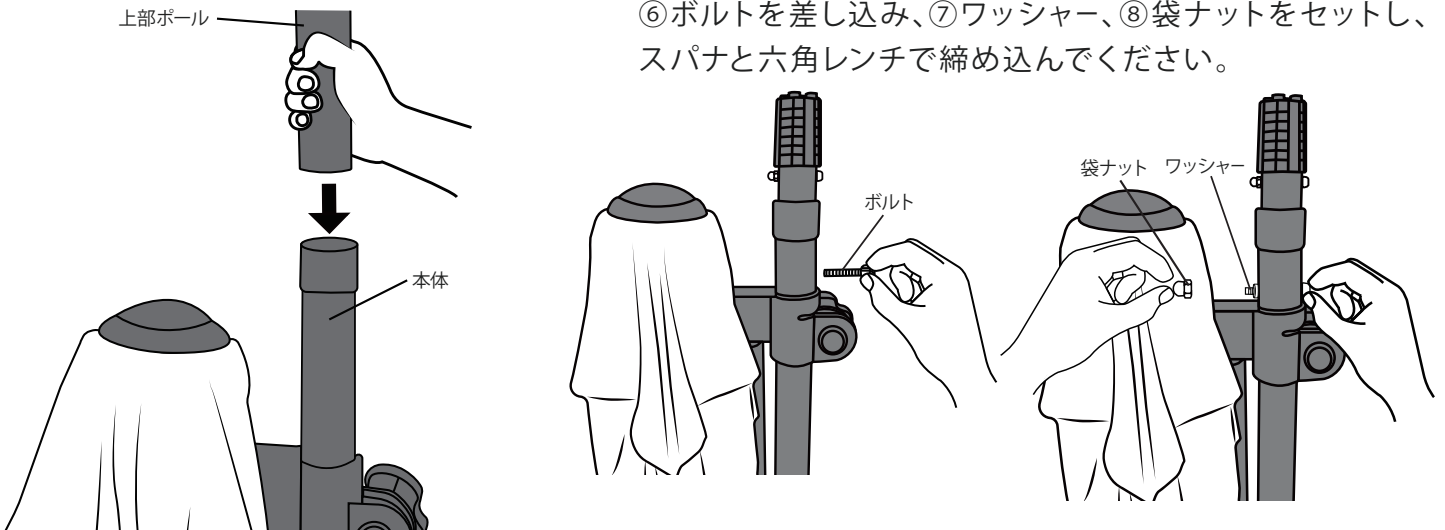
### C. 本体と下部ポールの接続

1. ①本体に③下部ポールを差し込みます。 2. 表1より、ボルトを差し込む穴の組合せを確認し、付属の⑥ボルトを差し込み、⑦ワッシャー、⑧袋ナットをセットし、スパナと六角レンチで締め込んでください。

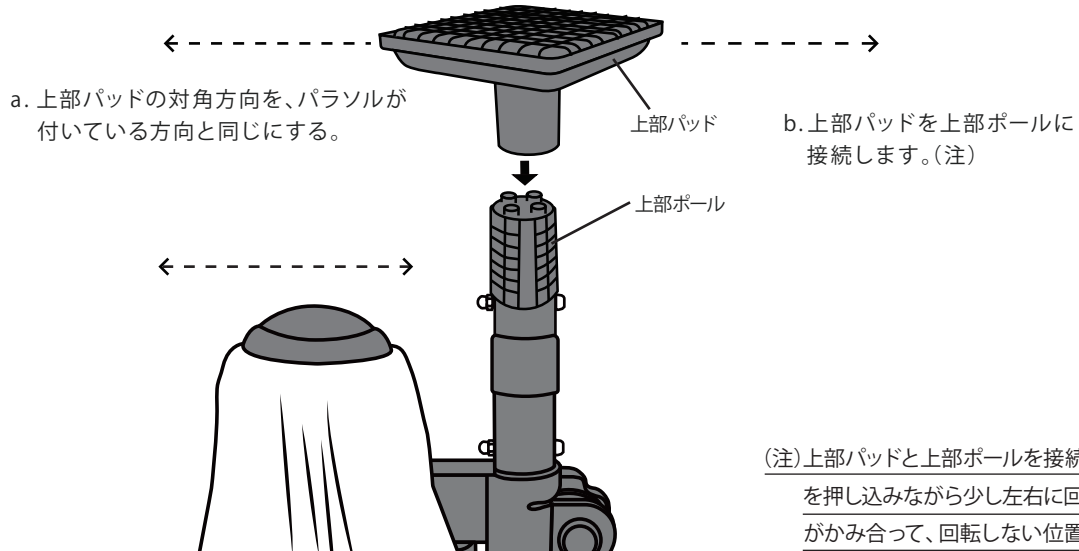


### D. 本体と上部ポールの接続

1. ①本体に②上部ポールを差し込みます。 2. 表1より、ボルトを差し込む穴の組合せを確認し、付属の⑥ボルトを差し込み、⑦ワッシャー、⑧袋ナットをセットし、スパナと六角レンチで締め込んでください。



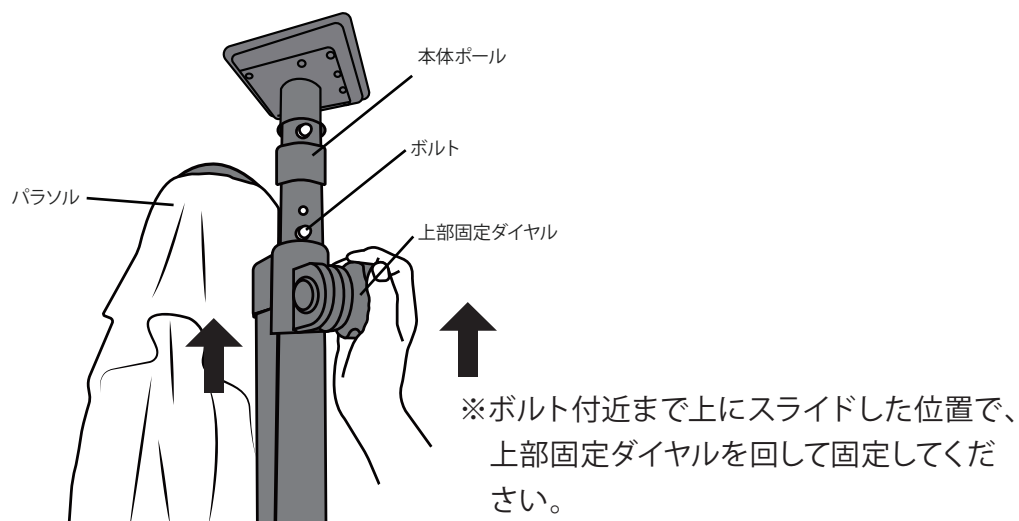
3. ④上部パッドを②上部ポールに接続してください。



## E. パラソルと本体ポールの固定

パラソルと本体ポールを任意の位置に合わせ、上部固定ダイヤルを回して固定します。

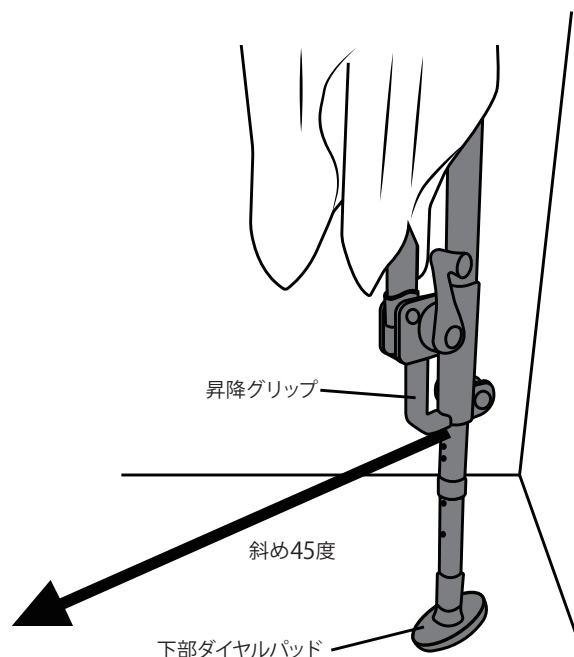
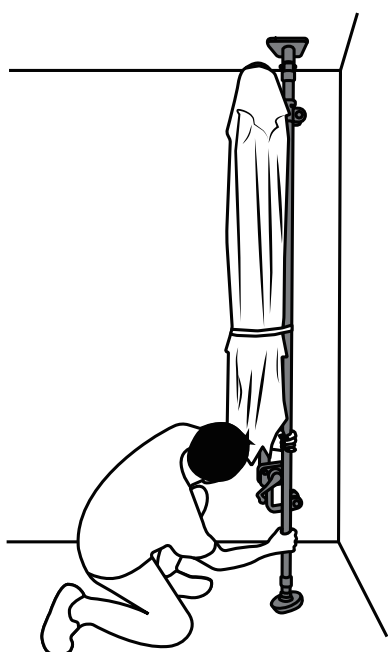
この位置によりパラソルを開いた時の高さが決まりますが、設置後にも調整できるので、ここでは一旦パラソルをボルト付近まで上にスライドした位置で固定してください。



## F. 本体の突っ張り固定

1. 本体と各ポールを接続したものを、設置場所で垂直に立ち上げてください。

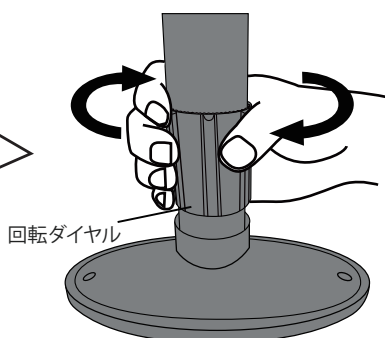
2. 上部パッドの角と昇降グリップと下部ダイヤルパッドを、建物の角に対して斜め45度の向きに合わせてください。



3. 本体が垂直状態になっている事に注意しながら、下部ダイヤルパッドの回転ダイヤルを時計回り(添付シール"棒が伸びる"方向)に回して突っ張り固定してください。

### ❗ 強制

突っ張り固定したら複数方向から見て、ポールの垂直具合を確認してください。水平でない場合、回転ダイヤルを緩めてポールが垂直になる位置に調整して、再度回転ダイヤルを時計回りに回して突っ張り固定してください。



### ❗ 強制

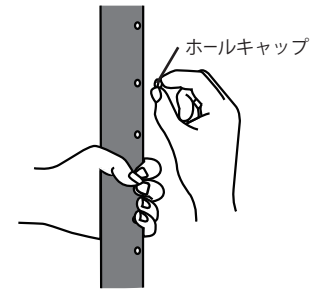
突っ張り固定したら本体を軽く揺さぶり、突っ張り具合に緩みがないことをご確認ください。またこの確認は、設置後も1週間に1度以上の頻度で必ず実施してください。

❶ 突っ張り固定したら少し離れた複数方向から見て、完全に垂直になっている事を確認してください。

❷ 垂直になっていない場合は回転ダイヤルを時計反対回りに(添付シール"棒が縮む"方向)に回し、一旦緩めてから突っ張り直してください。

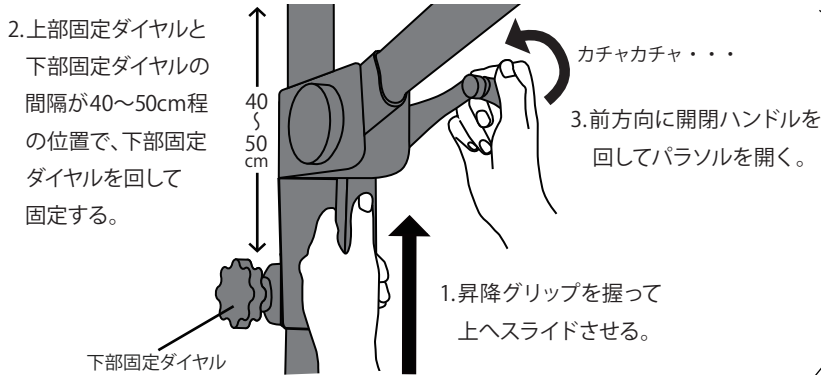


4. 各ポールの開いている穴に⑨ホールキャップを取り付けてください。



## G. パラソルを開く

1～4の手順に従って、パラソルを開いてください。



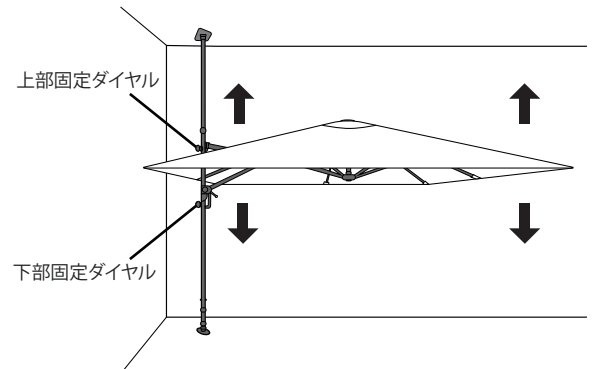
4. 正面から見て、パラソルの水平具合を確認する。水平でない場合、下部固定ダイヤルを緩めて、パラソルが水平になる位置に調整して、再度下部固定ダイヤルを回して固定してください。

▲ G3では必ず前方向(時計回り)に回し、カチャカチャ(歯車ロックの音)と音がする事を確認してください。誤って後ろ方向(反時計回り)に回してもパラソルは開きますが、内部の紐が切れたり故障の原因になりますのでご注意ください。

▲ パラソルを開く際、パラソルが壁にぶつかって開かない場合があります。この場合は一旦1～4の逆の手順でパラソルを完全に閉じ、下部ダイヤルパッドの回転ダイヤルを時計反対回りに少し回して突っ張り固定をゆるめてから角度をF-2(6ページ)の通りに調整し、再度パラソルが壁にぶつからない事を確認しながらゆっくりと開いてください。

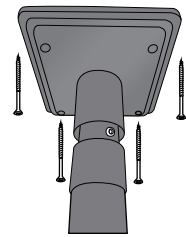
## H. パラソルの高さを調整する。(必要な場合のみ)

上部固定ダイヤルと下部固定ダイヤルを少しずつ緩めると、パラソルの位置を上下に動かせます。お好みの高さに調整したら、上部固定ダイヤルを回して固定し、続いて下部固定ダイヤルも回して固定してください。



## I. ドリルネジで固定する。(必要な場合のみ)

風などの影響で突っ張り固定強度に不安があり、天井面が木質等でドリルネジが打ち込める場合には、上部パッドの穴4カ所に市販の木工用ドリルネジ(呼び径3.8×長さ60～90mm推奨)を打ち込んでください。



## 3. 設置の最終確認

取付状態の最終点検をしてください。

またこの最終確認で不具合が生じたらその箇所に該当する本書の項目を再読し、本書に従って正しく設置し直してください。更に設置後も、以下事項の点検を週に1回以上の頻度で必ず実施してください。

- \* 本体を少し離れた複数方向から見て、完全にポールが垂直になっている事を確認してください。
- \* スパナと六角レンチを使用し、前項で接続したボルトと袋ナットがしっかり締まっている事を確認してください。
- \* 本体のポール部分を握り、軽く揺らし、しっかりと突っ張っている事を確認してください。
- \* 本体のポール部分を握り、軽く回し、しっかりと突っ張っている事を確認してください。
- \* 「G. パラソルを開く」と反対の手順でパラソルを一旦閉じてください。その後何度か開閉を繰り返し、問題なく日々の開閉動作が出来る事を確認してください。

これで完成です。

パラシェードスクエアで軒先を日差しから守り、快適なスペースとしてご利用ください。

## 4. 使用上の注意

- ▲ 注意 本製品のパラソル生地には撥水加工を施してありますが、非ビニール素材である為多少の水を通します。
- ▲ 注意 本製品のパラソル生地は紫外線抑止加工を施してありますが、経年劣化により色が少しずつ変化していきます。
- ❶ 強制 夜間や留守中等、人目から離れる際には、必ずパラソルを閉じ、縫い付けのバンドで固定してください。
- ❶ 強制 強風、大雨、大雪、その他悪天候の時はご使用にならないでください。  
特に台風、豪雨、大雪等の悪天候の際には、事前に本製品を取外し、屋内にて保管してください。
- ❶ 強制 "3.設置の最終確認"にある各項目の点検を週1回以上実施し、不具合が生じたらその箇所に該当する本書の項目を再読し、本書に従って正しく設置し直してください。
- ⊘ 禁止 本製品に寄りかかったり、点検以外の目的で揺さぶったり、物を載せたり、引っ掛けたりしないでください。
- ⚠ 警告 本製品は家庭の軒先に設置する、突っ張り固定式正方形型日よけパラソルです。  
本製品を本来の目的以外で使用したり、お客様による改造等はしないようお願い致します。

## 5. お掃除・お手入れについて

\*日常のお手入れは、乾いた布で軽く拭いてください。汚れがひどく、洗剤を使用したい場合は、必ず対象洗剤の説明書をよくお読みになり、適合している場合のみで使用ください。また使用する際は目立たない場所で少量を試し、問題無いことを確認してから広い面積にご使用ください。

\*可動部分への潤滑油、金属部分のさび止め剤、生地部分の防水スプレー等の塗布は、必ずそれぞれの説明書をよくお読みになり、適合している場合のみで使用ください。また使用する際は目立たない場所で少量を試し、問題無いことを確認してから広い面積にご使用ください。

## 6. その他

本製品は重量があり、雨風等の影響を受ける屋外に設置するため、正しく取り付けてご使用にならないと本製品を破損するだけでなく、重大な事故につながる恐れがあります。

設置・ご使用の際にはこの『設置・取扱説明書』をよくお読みになり、正しくご使用ください。

設置後、絶対に倒れないという保証はありません。"3.設置の最終確認"にある各項目の週1回以上の点検を必ず実施してください。